

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 大  
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹石 松次  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局长 (氏名) 赤塚 幸 (TEL) 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,302	8.6	△78	—	△57	—	△37	—
24年3月期第2四半期	8,567	△8.9	△376	—	△350	—	△223	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △244百万円( —%) 24年3月期第2四半期 △298百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△6.24	—
24年3月期第2四半期	△37.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,009	12,569	56.6
24年3月期	20,299	12,687	56.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,333百万円 24年3月期 11,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 3円75銭 記念配当 1円25銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,946	4.4	627	92.3	651	81.8	315	687.5	52.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社ITスクエア、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,000,000株	24年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	640株	24年3月期	640株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,999,360株	24年3月期2Q	5,999,409株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,670	2.1	357	181.1	200	669.2	33	34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事項	12
5. (参考) 個別業績の概要	12
(1) 個別経営成績	12
(2) 個別財政状態	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などを背景に緩やかな回復の動きをみせたものの、円高の長期化、欧州の債務危機懸念、世界景気の減速などの影響から、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

放送業界におきましては、テレビスポット広告の出稿量が前年同期を上回り回復傾向が続きましたが、夏以降は伸び悩みました。また、情報サービス業界におきましては、依然として企業による情報システムへの投資マインドに回復の兆しが見られず、厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は93億2百万円（前期比108.6%）となり、7億3千4百万円の増収となりました。

また、徹底したコストの削減を図り収益の確保に全力を傾けましたが、利益面におきましては、営業損益は7千8百万円の損失計上（前年同期は3億7千6百万円の損失計上）、経常損益は5千7百万円の損失計上（前年同期は3億5千万円の損失計上）、四半期純損益は3千7百万円の損失計上（前年同期は2億2千3百万円の損失計上）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

放送事業におきましては、ラジオ収入は、県内において地域に密着した企画提案を行い、新規スポンサーの獲得を押し進めましたが、依然として首都圏を中心にスポンサー離れに歯止めがかかりませんでした。一方で、テレビ収入は震災による落ち込みから回復を見せ、スポット収入が好調に推移した他、番組制作収入も前年を上回りました。また、その他の収入では、プロ野球公式戦を開催した他、60周年記念の美術展を開催するなど、前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は32億8千3百万円（前期比102.1%）となり、営業利益では1億1千7百万円の計上（前年同期は8千万円の損失計上）となりました。

情報処理サービス事業におきましては、企業によるIT投資は依然として抑制傾向にありますが、公共関連施設の大型の機器更新を受注したほか、県外でのソフトウェア販売が回復したことなどから、前年の売り上げを上回ることができました。

当第2四半期累計期間の売上高は51億9千6百万円（前期比114.5%）となり、営業損益では、1億8千3百万円の損失計上（前年同期は2億7千4百万円の損失計上）となりました。

ホテル及び飲食事業におきましては、新潟市内でのホテル間競争が続くなかで、高校総体などスポーツイベントの開催により宿泊客は大きく伸びました。また、宴会部門も好調で、前年を上回りましたが、レストラン部門はランチの来客数の減少などから前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5億8千6百万円（前期比107.3%）となったものの、営業損益では、2千2百万円の損失計上（前年同期は4千2百万円の損失計上）となりました。

建物サービスその他事業におきましては、メディア収入、放送業務の各部門が順調に推移した一方で、売上の主力である施設管理部門において、大型ビルでの管理契約変更があった他、保険部門でも契約期間の変更などにより売上が前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5億6百万円（前期比98.7%）となり、営業利益では9百万円の計上（前期比47.3%）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

## 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は200億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億8千9百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が86億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加しております。これは主に受取手形及び売掛金が17億4千6百万円減少したものの、現金及び預金が9億3千2百万円、たな卸資産が6億8千7百万円増加したことなどによります。固定資産では、113億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億9千4百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券が3億2百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債が46億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億4千1百万円減少しております。これは主に未払金で9千3百万円、短期借入金で1億8千2百万円減少したことによるものであります。固定負債は27億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて6千9百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が増加したことによります。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金の減少1億6千2百万円、利益剰余金の増加1千4百万円、少数株主持分の増加2千9百万円により125億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億1千8百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同じ56.6%となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初計画を上回る結果で推移しております。詳細は本日（平成24年11月13日）発表いたしました「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、上半期には放送事業で前年を上回る実績を上げることができましたが、下期においては不透明な景気動向が続き、夏以降テレビスポットなどで減速傾向がみられる一方で、情報処理サービス関連では、下期に入り順調に推移するものとみられます。このため平成24年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社ITスクエアを連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,700,789	3,633,776
受取手形及び売掛金	4,814,851	3,068,523
有価証券	246,125	246,217
商品	90,803	499,184
原材料	11,851	14,647
仕掛品	221,140	497,706
繰延税金資産	180,637	249,205
その他の流動資産	390,101	448,747
貸倒引当金	△11,307	△7,993
流動資産合計	8,644,993	8,650,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,364,836	3,316,342
土地	2,324,664	2,322,695
リース資産（純額）	886,023	909,252
その他（純額）	1,007,540	891,005
有形固定資産合計	7,583,066	7,439,296
無形固定資産		
投資その他の資産	435,912	464,378
投資有価証券	1,837,205	1,534,561
繰延税金資産	977,124	1,041,745
その他の投資及びその他の資産	863,889	919,318
貸倒引当金	△43,185	△40,242
投資その他の資産合計	3,635,033	3,455,383
固定資産合計	11,654,012	11,359,057
資産合計	20,299,006	20,009,073
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,704,668	2,610,829
短期借入金	1,173,640	991,640
未払法人税等	37,054	62,424
賞与引当金	395,352	436,717
その他の流動負債	578,116	545,677
流動負債合計	4,888,831	4,647,288
固定負債		
長期借入金	1,204,230	1,261,910
リース債務	652,628	647,069
退職給付引当金	344,004	337,432
役員退職慰労引当金	259,922	256,279
アナログ放送設備解体引当金	36,520	60,637
その他の固定負債	225,117	229,069
固定負債合計	2,722,424	2,792,397
負債合計	7,611,256	7,439,686



（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	11,284,904	11,299,274
自己株式	△444	△444
株主資本合計	11,590,210	11,604,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△108,838	△271,170
その他の包括利益累計額合計	△108,838	△271,170
少数株主持分	1,206,378	1,235,976
純資産合計	12,687,749	12,569,387
負債・純資産合計	20,299,006	20,009,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,567,268	9,302,107
売上原価	6,425,073	6,869,280
売上総利益	2,142,195	2,432,827
販売費及び一般管理費	2,518,827	2,511,074
営業損失(△)	△376,631	△78,247
営業外収益		
受取利息	881	1,546
受取配当金	23,584	26,318
受取賃貸料	4,994	4,494
その他	15,591	10,356
営業外収益合計	45,051	42,716
営業外費用		
支払利息	17,707	18,453
その他	1,323	3,486
営業外費用合計	19,031	21,940
経常損失(△)	△350,611	△57,471
特別利益		
固定資産売却益	78,713	31,890
その他	15,561	258
特別利益合計	94,275	32,148
特別損失		
固定資産除却損	13,286	2,874
アナログ放送設備解体引当金繰入額	40,640	29,330
その他	18,012	668
特別損失合計	71,938	32,873
税金等調整前四半期純損失(△)	△328,274	△58,196
法人税等	△43,080	23,549
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△285,193	△81,745
少数株主損失(△)	△61,246	△44,309
四半期純損失(△)	△223,946	△37,435

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△285,193	△81,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,436	△162,485
その他の包括利益合計	△13,436	△162,485
四半期包括利益	△298,629	△244,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△237,345	△199,767
少数株主に係る四半期包括利益	△61,283	△44,464

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第 2 四半期連結累計期間 （自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日）	当第 2 四半期連結累計期間 （自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△328,274	△58,196
減価償却費	472,440	452,022
賞与引当金の増減額（△は減少）	△89,004	15,465
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△20,071	△6,571
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△119,163	△3,643
アナログ放送設備解体引当金の増減額（△は減少）	40,640	24,116
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△7,175	△6,258
受取利息及び受取配当金	△24,465	△27,865
支払利息	17,707	18,453
固定資産除却損	13,286	2,874
固定資産売却損益（△は益）	△78,579	△31,758
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,062	△150
出資金評価損	234	148
売上債権の増減額（△は増加）	1,193,473	1,854,479
たな卸資産の増減額（△は増加）	△658,856	△658,262
その他の資産の増減額（△は増加）	327,349	△100,206
仕入債務の増減額（△は減少）	133,923	269,578
その他の負債の増減額（△は減少）	△282,948	△445,852
小計	589,453	1,298,373
利息及び配当金の受取額	24,465	27,865
利息の支払額	△17,778	△18,458
法人税等の支払額	△22,830	△31,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	573,310	1,276,463
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△194,200	△161,700
定期預金の払戻による収入	180,000	156,000
有形固定資産の取得による支出	△610,945	△123,580
有形固定資産の売却による収入	80	44,095
無形固定資産の取得による支出	△19,536	△168,442
投資有価証券の取得による支出	△100,856	△20,714
投資有価証券の売却による収入	4,576	2,781
差入保証金の差入による支出	△14	△984
差入保証金の回収による収入	7,323	7,641
その他の支出	△10,291	△4,986
その他の収入	118,594	6,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△625,270	△263,811

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△15,000	△214,000
長期借入金の返済による支出	△157,110	△103,320
長期借入れによる収入	300,000	193,000
リース債務の返済による支出	△107,487	△58,587
自己株式の取得による支出	△18	—
配当金の支払額	△22,436	△29,994
少数株主への配当金の支払額	△8,280	△10,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,332	△222,931
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△62,292	789,720
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	137,659
現金及び現金同等物の期首残高	2,792,391	2,788,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,730,099	3,715,593

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,152,099	4,504,987	537,300	372,881	8,567,268	—	8,567,268
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	63,232	34,272	8,920	140,457	246,883	△246,883	—
計	3,215,331	4,539,259	546,221	513,339	8,814,152	△246,883	8,567,268
セグメント利益又は損失 (△)	△80,157	△274,723	△42,811	19,317	△378,376	1,744	△376,631

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,219,157	5,161,572	573,198	348,179	9,302,107	—	9,302,107
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	64,001	35,247	13,020	158,727	270,997	△270,997	—
計	3,283,159	5,196,820	586,219	506,906	9,573,105	△270,997	9,302,107
セグメント利益又は損失 (△)	117,451	△183,278	△22,306	9,142	△78,991	743	△78,247

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

## 5.（参考）個別業績の概要

平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

### （1）個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,283	2.1	117	—	160	—	83	—
24年3月期第2四半期	3,215	△10.5	△81	—	△38	—	△50	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	13	98	—	—
24年3月期第2四半期	△8	46	—	—

### （2）個別財政状態

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期第2四半期	11,085	9,202	9,202	9,202
24年3月期	11,210	9,310	9,310	9,310